

外来医師一覧表

		月	火	水	木	金
外科	午前	田辺 大朗		田辺 大朗	甲斐 幹男	
整形外科	午前	西口 雅彦	西口 雅彦		西口 雅彦	
	午後		西口 雅彦			
脳神経外科	午前		熊本大学病院医師 黒田(第1週)竹崎(第2週) 賀末(第3週)植川(第4週)	藤岡 正導		藤岡 正導
	午後			藤岡 正導		
心臓血管外科	午後	済生会熊本病院医師				
循環器内科	午前	庄野 弘幸	田中 靖章		庄野 弘幸	田中 靖章 (第1、3週)
	午後	庄野 弘幸	田中 靖章		庄野 弘幸	
呼吸器内科	午前	済生会熊本病院医師 仁田脇(第2週)川村(第4週)				
消化器内科	午前		藤本 貴久	築村 哲人	築村 哲人	藤本 貴久
	午後				築村 哲人	
肝臓外来 予約	午前			熊本大学病院医師 瀬戸山		
泌尿器科	午前			済生会熊本病院医師 三上(第2、4週)	済生会熊本病院医師 占部(第1、3週)	
腎臓内科 予約	午前					町田 健治
	午後			町田 健治		
糖尿病外来 予約	午前					済生会熊本病院医師 星乃(第2週)、松尾(第3週)
乳腺外来	午前	田辺 大朗		田辺 大朗	甲斐 幹男	
ペインクリニック	午後					非常勤医師 荒川(第2、4週)
脳ドック 予約	午後			藤岡 正導		

- 受付時間／8:30～11:00 (土・日・祝日・年末年始を除く)
- 診療案内／TEL.0964-53-1656 FAX.0964-53-1657
- ※お電話での予約や予約変更は平日14:00～17:00に承っております。
- ※休日診日がございますので、事前にお問い合わせください。
- ※再診や紹介状をお持ちの方は事前のご予約をおすすめします。

お知らせ

ホームページに最新の休診情報を掲載していますので、ご覧ください。

患者さんの権利と義務

私達は、安心して診療・治療を受けて頂くために、病状や治療法などについて十分な説明を行います。また患者さんのご負担を軽減し、同意に基づいた医療を提供します。

患者さんの権利

1. 良質な医療を公平に受ける権利
2. 診療の内容等について十分な説明を受ける権利
3. 治療方法など自分の意志で決定する権利
4. 個人の秘密や医療上の情報が保護される権利
5. 診療記録の開示を求める権利
6. あなたの病気について他の医師に意見を求める権利

患者さんの義務

1. 自分の健康状態を出来るだけ正確に伝える義務
2. わからない事柄について質問する義務
3. 病院の規則と指示を守り治療に専念する義務
4. 他の来院者に対して迷惑をかける義務

理念と基本方針

医療・福祉を通じて安心して生活できる地域づくりに貢献します。
「地域医療を支援します」「救急医療を実践します」「健康的な生活を支援します」



咲かせよう いのち 世代を越えて いつまでも。



63 Take Free.
2023.10



訪問看護
ステーション
開設

新着医師の紹介

病気のはなし「不整脈診療について」

みすみ病院のできごと／部署紹介[栄養管理室]
外来医師一覧

[特集] 第2回 家族写真コンテスト
開催案内

新着医師の紹介



今年4月に済生会熊本病院より赴任いたしました。専門は循環器内科で、中でも不整脈が得意分野です。出身は熊本市で、弘前大学に赴任していた数ヶ月を除いてはずっと地元在住です。

2000年に熊本大学医学部卒業後、循環器内科へ入局。同附属病院循環器内科で研修を開始しました。2001年4月から熊本市市民病院内科で研修を行い、この時に私が専門としております不整脈の師匠である山部浩茂先生と出会い、不整脈診療にも携わるようになりました。私が初めて不整脈のカテーテル治療であるカテーテルアブレーションを担当した最初の症例は通常型心房粗動の症例でした。この不整脈は、右心房の中を不整脈の電気の興奮が旋回して起こる不整脈で、三尖弁と下大静脈の間をカテーテルの熱で焼灼すると根治することができます。その当時は、山部先生の指導に従って、ただカテーテルを保持して少しずつ動かすことしかできませんでした。それによって心房粗動が止まったときの感動が、私が不整脈を専攻とする大きなきっかけとなりました。

その後、循環器内科の専攻医を得たのち、2003年に熊本大学附属病院へ移動となり、ずっと不整脈を専攻して、カテーテルアブレーション、ペースメーカーなどのデバイス治療を専門としてきました。腰を痛めたことから2009年は熊本県庁健康福祉部に医療技官として1年間勤務しておりましたが、その時代に済生会みすみ病院に業務で来院したことがあり、その時が、みすみ病院とのはじめての接点でした。

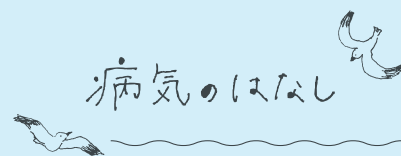
腰の調子もよくなったことから2010年より済生会熊本病院へ入職し、不整脈診療を中心として循環器診療に従事してきました。

みすみ病院へは、済生会熊本病院時代に夜間当直などで度々訪れ、今回の赴任の機会を得ました。これまでとは異なる疾患の診療経験も増えており、未だ慣れていない部分も多々ありますが、私の不整脈診療の経験を生かして、地域医療の充実に貢献したいと考えています。

プライベートな話になりますが、実は私、ちょっとだけテレビCMに映っています。「白岳しろ」の、姫戸町での餅つき風景を撮影したテレビCMなのですが、この中にほんの一瞬だけ映っています。ちなみにこの餅つきの中にいる方々は私の親戚です。CMを見られた際には見つけてみてください。



循環器内科部長
田中 靖章

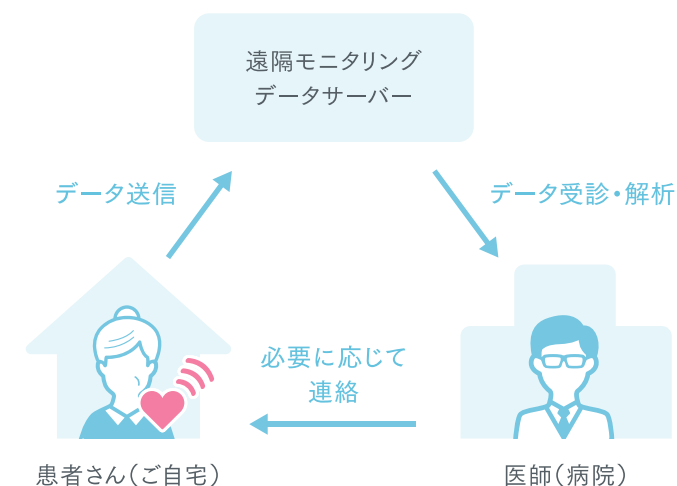


不整脈診療について

循環器内科部長／田中靖章

○ ペースメーカーなどのデバイスの遠隔モニタリングを始めます

済生会熊本病院でペースメーカー植え込みなどを行われた方は、ご存知の方が多いと思いますが、遠隔モニタリングとは、自宅でペースメーカーの作動状況などが確認できるシステムです。通常、ペースメーカーの作動状況を確認するには、病院を受診して、プログラマでペースメーカー内のデータを読み込む必要がありますが、遠隔モニタリングでは、自宅にペースメーカーと通信できる装置を



置くことで、自宅にいながらペースメーカーのデータをペースメーカー会社のサーバーに送信することができ、そのサーバーに私たちがアクセスすることで、ペースメーカーの作動状況を確認することができます。済生会熊本病院ではもう10年以上前から遠隔モニタリングを導入し、デバイス外来などで活用しております。済生会熊本病院のみならず、熊本大学病院や熊本中央病院など他院でペースメーカーを植え込まれた方も、現在では、ほぼ遠隔モニタリングに対応したペースメーカーが植え込まれております。

遠隔モニタリングのメリットは、自宅でペースメーカーチェックが可能となることです。遠隔モニタリングを活用すれば、病院を受診せずとも、データを送信したことを病院へ連絡していただくと、病院からサーバーにアクセスしてペースメーカーの作動状況を確認できますので、例えば、病院から遠方に住んでいて、毎回、ペースメーカー外来へ受診することが困難な方も、遠隔モニタリングを活用することでペースメーカー外来の受診間隔を延長することが可能です。現在、日本の医療制度においては、最長で1年間は遠隔モニタリングでのペースメーカーチェックが認められておりますので、これまで半年毎であったペースメーカーチェックを最長で1年毎に延ばすことが可能になります。

遠隔モニタリングでのペースメーカーチェックの安全性についてはatHome研究など全世界を対象



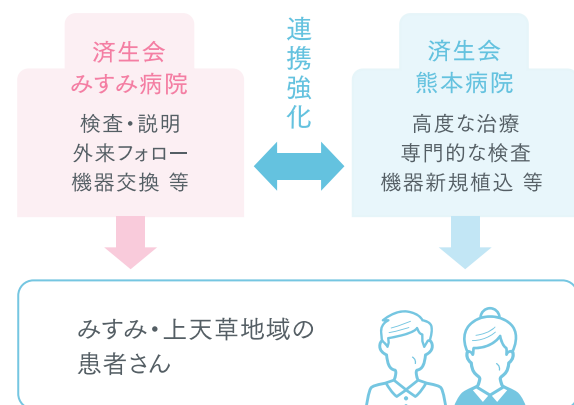


として行われた臨床試験で確認されており、その結果においても1年間の遠隔モニタリングにおいては安全性が担保されております。

また、定期的なペースメーカーチェック以外にもペースメーカーに不具合が生じたときには、そのことが遠隔モニタリングにてサーバーへアップされ、同時に医療機関にもメール配信される仕組みになっておりますので、早めにペースメーカーの不具合を察知することが可能です。ここで留意していただきたいことは、この遠隔モニタリングシステムですが、ペースメーカーの不具合などを早期に察知することが可能なシステムですが、緊急対応が可能となるシステムではないということです。ペースメーカーの不具合が生じてからサーバーにデータがアップされるまでにはペースメーカーのメーカーによってさまざまですがタイムラグがあり、不具合を生じて直に対応できるものではありません。この点だけにご留意ください。

これまでみすみ病院では遠隔モニタリングを用いたペースメーカーチェックは行っておりませんでした。現在、導入に向けて準備を進めており、当院でも遠隔モニタリングでのペースメーカーチェックが可能になる予定です。導入後は、済生会熊本病院で行われていた遠隔モニタリングと同様のことが当院でも可能になり、ペースメーカーチェックの体制がより充実いたしますのでご期待ください。

○ 済生会熊本病院との連携強化



不整脈診療においては、薬物治療以外にカテーテル治療やデバイス治療があり、近年においては、不整脈診療のガイドラインにおいてもカテーテル治療が重要な位置づけとなってきました。カテーテル治療は施設基準があること、また、高価な設備が必要であることからみすみ病院では残念ながら実施できませんが、済生会熊本病院では、年間900例程度の不整脈のカテーテル治療を実施しており、これは全国的にみてもかなり上位の症例数であり、九州では小倉記念病院について2番目の症例数を誇っております。心房細動や発作性上室頻拍などでカテーテル治療が必要な際には、済生会熊本病院へ紹介することになりますが、これまでは、まずカテーテル治療の説明や予約のために1回、検査のために1-2回、カテーテル治療後のフォローのために4回以上、済生会熊本病院を受診する必要がありましたが、今後は、カテーテル治療の説明や予約は当院で可能と

なり、また、術後の診察も当院で可能となりますので、済生会熊本病院まで受診する回数はかなり減らすことが可能となります。

これまでにカテーテル治療を2000例以上、デバイス治療を1500例以上担当してきましたが、みすみ病院に赴任した現在も、週1回、済生会熊本病院でカテーテル治療、デバイス治療を担当しており、みすみ病院で診察した患

者さんを担当する場合があります。みすみ病院で診療した患者さんを、済生会熊本病院でも担当し、その後のフォローをまたみすみ病院で引き続き行うといった一貫した診療も可能となっております。

不整脈診療以外の連携強化も、今後進めていく予定で考えております。お気軽にご相談ください。

○ ペースメーカー交換手術の開始について

ペースメーカー植え込みを行った方は、ペースメーカーの電池が少なくなれば、ペースメーカーの交換が必要となります。これまでは、ペースメーカー交換手術は、済生会熊本病院で行っていましたが、以前よりみすみ病院でできないかとのご意見をいただいております。物品やスタッフの準備も整いましたので、今年8月よりペースメーカー交換手術を開始いたしました。ペースメーカーのリード線に問題があり、リード線の追加が必要な場合は、これまで通り済生会熊本病院でのペースメーカー交換が必要ですが、リード線に異常がなく、ペースメーカーの交換のみの手術の場合には、当院でペースメーカー交換手術が実施できます。入院期間は1週間で、局所麻酔での手術ですが、ご希望により鎮静剤を併用しての手術も可能です。

体制を整えば、将来的には、ペースメーカーの新規植え込みについても当院で行うことを検討しております。

庄野院長とともに循環器診療をさらに充実していく所存ですので
よろしくお願ひします!



第2回

済生会みすみ病院

家族写真コンテスト

2023年3月に開院20周年を迎えたことを記念して、家族写真コンテストを開始しました。今回は第2回目となります。入賞作品は当院のホームページや広報誌へ掲載いたします。たくさんのご応募お待ちしております!!



募集要項	
テーマ	『家族写真』（サブテーマ：地域の風景・三世代・笑顔など）
賞および賞品	<p>金賞 1点 [賞品/お菓子詰め合わせ大]</p> <p>銀賞 2点 [賞品/お菓子詰め合わせ小]</p> <p>※どちらも当院ホームページのTOPページへ一定期間掲載、その後サイト内のすまいるギャラリーへ保存いたします。また、広報誌「さいせい」への掲載や院内掲示などに利用させていただきます。</p>
発表	院内で選考後、入賞者の方へご連絡いたします。また、ホームページ等で発表いたします。
応募規定	<ul style="list-style-type: none"> ● 横向きで撮影されたもの ● JPEG形式(1,000万画素以上推奨) <p>※画像使用時にトリミング等の加工をさせていただく場合がございます。</p>
応募方法	<p>1 メールでのご送付</p> <p>氏名(ふりがな)、住所、電話番号、メールアドレス、作品のタイトルを記載の上、下記メールアドレスへ写真データをお送りください。(15MB以内)</p> <p>✉ koho-misumi@saiseikaikumamoto.jp</p> <p>2 CD・DVD等のご郵送またはご持参</p> <p>氏名(ふりがな)、住所、電話番号、メールアドレス、作品のタイトルを同封の上、下記住所へ写真データを郵送またはご持参ください。</p> <p>〒869-3205 熊本県宇城市三角町波多775-1 済生会みすみ病院 家族写真コンテスト係</p> <p>※お送りいただきましたデータ、CD・DVD等をご返却いたしませんのでご了承ください。</p>
応募締切	2023年12月15日(金)
注意事項	<p>ご提供いただいた個人情報は厳重に管理し、当コンテストに関連する業務にのみ使用いたします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 入賞作品は当院が無期限・無償で自由に利用することをご了承ください。 2. 応募作品が規定に満たない場合は、選考から除外する場合がございます。 3. 応募作品は応募者に全ての著作権があるものかつ未発表のものに限ります。 4. 応募作品において肖像権や著作権の侵害等があった場合、応募者が解決するものとし、当院では一切責任を負いません。 5. 応募により生じた損害等につきまして、当院は一切責任を負いません。 6. 18歳未満の方が応募された場合は、保護者の同意を得たものとみなします。



みすみ病院の できごと

SAISEIKAI MISUMI HOSPITAL

病院機能評価訪問審査

5月23日～24日に病院機能評価の訪問審査を受審しました。当院は2007年4月に初回認定を受けており、今回は3回目の認定更新のための受審です。当初は2022年8月の予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響で日程を延期しての受審となりました。

2021年8月にプロジェクトを立ち上げ、評価項目に沿った自己評価と改善活動を実施。情報が散在している文書管理方法の変更や、職員手帳の内容見直しを行いました。その後、院内ラウンド、模擬サーベイ、準備書類確認のグループに分かれて活動を行いました。しかし、いよいよ訪問審査1カ月前というときに、当院にも感染の余波が押し寄せ、日程を延期せざるを得ない状況となりました。同時にプロジェクトの活動も一時中断することとなり、状況が落ち着いた2022年10月に改めて活動を再開しました。訪問審査当日は会場全体が緊張感に包まれていましたが、日々取り組んできたことが自信になったようで、各部署の担当者も質問にしっかりと回答していました。そして、9月に審査結果が届き、無事「認定」を受けることができました。

企画総務室



ケアプロセス調査

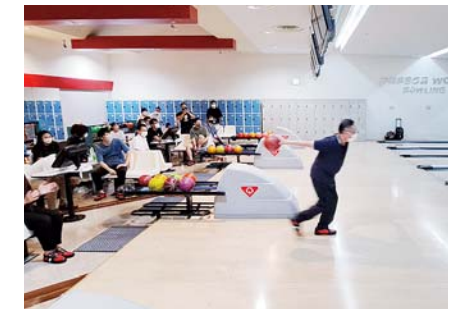
新入職員歓迎 ボウリング大会

7月7日(金)パスカワールド宇土で新入職員歓迎ボウリング大会を開催し、職員と職員家族の約50名が参加しました。

庄野院長の始球式のナイスストライクに始まり、職種混合のチーム戦で、スコアを競い合いました。コロナの影響で数年ぶりのボウリング大会開催ということもあり、大盛況でした。

さらに新入職員にとっては初めての病院イベントであり、様々な職員と交流する良い機会となりました。また、次回イベントを開催できることを楽しみにしております。

職場改善委員会



庄野院長始球式 ナイスストライク!!

部署紹介★

栄養管理室



地域に寄り添った 管理栄養士を目指して

開院当初は2名だったスタッフも、現在管理栄養士4名・週2回事務員1名が従事しており、地域に寄り添った管理栄養士を目指して活動しています。

業務は大きく2つに分かれており、栄養管理業務と給食管理業務です。給食管理業務は委託会社と協力しながら、おいしく・安全な食事提供を一番に取り組んでいます。

職業柄、新商品や珍しい食べ物などの情報にとっても興味があるため、情報交換をしたり、栄養表示などをすぐ見たりしてしまいます。

